

What to do

性的被害に遭ったセックスワーカーへの手引き

New Zealand Prostitutes' Collective



セックスワーカーには安全に働く権利があります。性行為に合意していない場合、行為に対する同意はなかったと見なされます。同意を伴わない性的交渉は性的暴行・強姦にあたります。

このガイドブックは、性的被害に遭った場合に必要な行動や受けられる支援について詳細に記載しています。有益な情報は、あなた自身や周囲の人が性的被害に遭った際に必要な助けを見つける手引きになります。

New Zealand Prostitutes' Collective

NZPCはセックスワーカーにより、セックスワーカーのために、全てのセックスワーカーの権利と身体的精神的な健康の向上のために活動しています。私たちは全てのセックスワーカーが自身の仕事と人生の全ての側面で主体的な権利を持つことができるよう、セックスワーカーのエンパワーメントのために全力を尽くしています。

私たちの活動は、セックスワーカーの権利、HIV及びその他性感染症の予防と教育に焦点を当てています。またNZPCの各地域支部では、より安全なセックスに必要な備品の供給や無料のセクシャルヘルスを扱う診療所を提供しています。

NZPCは長きに渡り、セックスワーカーと性産業に関する法改正の最前線でも活動してきました。私たちはニュージーランドでセックスワークの非犯罪化を行ったProstitution Reform Actの作成過程に関わり、法律として議会での可決に向けての協力を行いました。

NZPCはニュージーランドにおけるセックスワーカーと性産業に関わる法律や政策に関心のある方に向けての助言も行なっています。私たちは政府機関と非政府機関の市民団体、そして性産業界の橋渡し役として活動しています。



目次

- ・ 直後
- ・ 他の被害者をサポートする
- ・ 継続的な支援
- ・ よくある質問
- ・ NZPCによる支援
- ・ その他の支援機関およびサービス
- ・ 法医学検査
- ・ 性的被害の警察への通報

セックスワーカーとして表に出て声を上げることは、時に大事になります。セックスワーカーの精神的、身体的な健康は、様々な組織が共に動くことによって作られる社会的インフラに大きく影響されます。もし性的被害に遭った場合、様々なサービスから支援を受けられることを、全てのセックスワーカーが知っていることはとても重要です。今回NZPCがニュージーランド警察と協力し、セックスワーカーのための資料作成に至れたことをとても光栄に思います。

Dame Catherine Healy
New Zealand Prostitutes' Collectives 創設者

ニュージーランド警察とNZPCはその他の支援機関と提携し、セックスワーカーの安全と健康が確保されるように働いてきました。全ての性的暴行の被害者が私たちが提供できる最高の支援を受け、性産業界と協力することでセックスワーカーができる限り安全な環境で働けることを目指しています。

Sam Holye
ニュージーランド警察 ウェリントン地区指揮官

“どんな状況にあっても、私たちはあなたを支援します”

性的暴行とは

性的暴行とは、合意なしに行われる全ての意図的な性的接触を指します。あなたが性的行為に賛成していない場合、性的行為に対する同意は生まれていません。

もしあなたが一旦性的行為に同意した後にそうではないと意見を変えた場合、その後に行われた性的接触は合意されていないと見なされます。

性的暴行は性別、年齢、工作中を含めた環境に関係なく、誰にでも起こり得ます。

安全に働く権利

性的暴行は決してセックスワーカーが仕事として負わなければならないリスクではありません。（例えば工作中であっても）性的暴行はあなたに対して行われる犯罪行為です。

セックスワーカーは顧客に理由を述べる必要なく、工作中的の行為に対して拒否を示し、どの時点でも仕事を中断する権利があります。例えば接客開始時点である行為に合意した場合でも、その後合意を否定することも認められています。

誰にも、あなたが望んでいない性行為をさせる権利はありません。

性的暴行が起きた場合

決してあなたのせいではありません。自分を責めないでください。強姦や性的暴行に対して、即座に起こる反応は個人によって異なります。辛く難しい時間にもなるかもしれません。誰にも話したくないかもしれません。他のワーカーや店のスタッフから少し離れた所でサポートを探す必要があるかもしれません。少し時間を取って、あなたの安全と健康、そして受けられる支援の選択肢を考えてみましょう。

あなたの周りの人は、あなたの決断を優先し尊重する必要があります。警察やNZPC、その他の支援団体に即座に連絡するように言われるかもしれません。これらの支援団体は、あなたの意思と選択を尊重し、必要な支援を行います。あなたが望まないことを強制することは決してありません。

警察における最優先事項はあなたの安全と健康です。ニュージーランド警察は独立組織として全ての性的暴行に関する報告・通報の調査を行います。（あなたの安全や精神状態が最優先事項ですが）早く警察に被害を届けることで、警察は必要な証拠を確保し、加害者を特定しやすくなります。証拠には目撃証言、警察と提携した医療機関による検査結果、監視カメラの映像等が含まれます。

性的暴行が起きた直後

現在位置や状況に関わらず

- 安全の確保が最優先事項です。
- 加害者に一人で立ち向かわない；身の危険に関わる可能性があります。
- 加害者の情報を可能な限り集め、全て書き留めておく。わかりやすい特徴（例：傷、入れ墨、髭、アクセサリー、話し方）など。
- 後で連絡が取れるように、その場に居合わせた人の連絡先を確保する。
- 暴行事件等に関しての情報は機密事項であると、他のセックスワーカー（を含む第三者）が認識していることを確認する。
- （身体的、精神的に）安全が確保できる場合は、携帯電話のカメラ等を使用し暴行直後の写真を撮っておく。

店舗、ホテル等にいる場合

- 暴行が起きた部屋をただちに閉め立ち入らない。証拠になる可能性のあるタオルやシーツ等の備品を一切動かさない。
- 店舗等が加害者の身元を把握しているか確認する。
- 加害者が過去に暴行等へ関係した、もしくは問題を起こしている記録があるかどうかを確認する。
- 店舗、ホテル等が監視カメラのデータを持っているか確認する。
- その場にいる人たちに加害者に関する外見的特徴等の証言を求める。

路上等屋外にいる場合

- 必要に応じてまずどこか静かで安全な場所に移動してください。何が起きたかを話したり、まず一人の空間を確保することは落ち着く助けになります。
- 噛んだチューインガムを加害者の車や窓の角、座席の下等に残しておくことは、DNAや指紋等の有効な証拠になり得ます。ただし、身の危険を冒してまで残すほど重要ではありません。
- どこにいるか関わらず、公共スペースでも法的に有効となる証拠を得られる可能性があります。
- （確実な加害者の車だけではなく）周囲にいる車のナンバープレートの情報を記録してください。後に警察の捜査に役立つ場合があります。

他の被害者をサポートする

耳を傾け、信じること

他の被害者をサポートする場合、第三者がその経験を決めつけたり、定義をしたりしないでください。何が起こったのか、自らの言葉で定義し整理することが必要ば場合があります。しっかりと話を聞き被害者の言葉を信じるのが最も大切です。「本当に?」「それはレイプだ!」などと言わないように。被害者が安全で周囲にサポートされていると感じるように気を遣うことが、第三者が集中すべきことです。何を話したいか、本人が決められる時間と場所を提供してください。

被害者が職場以外でのサポートと安全な居場所を得られるか、何か欲しい情報はあるか、聞いてください。助けを必要としている場合は、必要な支援を得られる場所や方法を探してください。本人のプライバシーを尊重し、暴行等の詳細は内密にしてください。起きたことは本人の同意なしに誰にも言わないこと。ただし、他のセックスワーカーへの警告として加害者（客）の情報を共有することはできます。

何をするかは本人次第だと被害者に伝えてください。

G.O.S.S.I.P

クライアントに関する情報を同業者間で共有すること。
ただし、セックスワーカーの個人情報
情報は晒さないこと。



継続的な支援

安全の確保

安全確保は最優先事項です。店舗型で働いている場合、管理者もしくは他のスタッフに報告し、加害者からすぐに離してもらいます。

セルフケア

決して自分自身を責めないこと。回復するための時間と場所を設け頑張りすぎないでください。性的被害は予想外のところであなたに影響を与えることがあります。被害に関する反応は個人によって異なり、あなたの感じていることが正しい、もしくは間違っていることなどはありません。

支援

誰か相談できる人がいることはとても大きな助けになります。家族、友達、同僚、カウンセラーなど、誰であってもあなたが一番安心できると思える人に相談してください。（セックスワーカーが性被害を相談する場合）聞き手はどう反応して良いかわからない、もしくはセックスワーカーと性被害に関しての知識や経験がない場合もあります。あなたが正しいと思うことを支援し、話を聞ける人を見つけることはとても大切です。

覚書

性被害及び暴行にあった場合、AAC(*ニュージーランドで事故等の際に使える医療保険)の対象になり、無料でカウンセリングを受けることができます。自らの心身の健康のために、できるセルフケアをすることも大切です。お風呂、日光浴、好きなテレビを見るなど、小さなことで何かが気分がよくなることがあれば積極的に取り入れてください。

状況をコントロールする

どの機関と繋がるか、誰に性被害を話すか、個人情報管理をどうするかなどを決める権利はあなた自身にあります。あなたを支援する人たちは、あなたの自己決定権を尊重する必要があります。もしあなたの決定権が他の誰かに渡っていると感じた場合、普段の小さな決定を自分ですることでバランスを取り戻してみてください。被害に遭った後は特に有効になることがあります。



よくある質問・よく言われること

- 性被害のリスクはセックスワーカーの仕事の一部では？

いいえ。職業にかかわらず、性的暴行は違法行為です。それは決して「仕事の一部」や「職業上のリスク」などではありません。Prostitution Reform Act (2003) (*ニュージーランドにおける風俗営業やセックスワーカーの権利などを新たに定めた法律で、2003年の完全非犯罪化の際に制定された) と刑法の元、セックスワーカーは開始時点で一旦行為に合意した場合も含めて、どんな場合でも性的接触を拒否することができます。その際に理由を示す必要はありません。

- 男性も性的暴行の被害者になり得ますか？

ジェンダーやセクシュアリティに関わらず、どんな人でも性的暴行の被害者になる可能性があります。ニュージーランドの法律では性別に関わらず、性被害に関する報告は真剣に扱われます。全ての人にNoと言う権利があります。

- 警察はセックスワーカーに何が起きるか気にしていますか？

ニュージーランド警察は性被害に関する報告をとて真剣に扱っており、どのような報告にもプロとしての対応を行います。警察の役割はコミュニティにおけるすべての人の安全を守ることであり、セックスワーカーはもちろんそのコミュニティの一員です。

- 性被害を警察に通報した場合、個人情報や新聞等に載りますか？

警察に通報した場合、警察はメディアに対して名前等の個人情報を提供することはありません。全ての被害者のプライバシーは保護されており、メディアが被害者が特定される可能性のあるかたちで報道を行うことは違法行為にあたります。

- もし仕事中にその場を離れた場合、店舗から罰金を課されることはありますか？

Prostitution Reform Act (2003)には、セックスワーカーは如何なる時も理由に関係なく性的接触を拒否することができると明記されています。マネージャー、店舗の所有者、フロントスタッフなどは、セックスワーカーに仕事を強要することはできません。同じく、罰金を課する、給与からの天引きをすること、セックスワーカーを脅迫すること、仕事を強要するために如何なる手段を行使することも禁止されています。

意に反する仕事を断ったことを罰したり、仕事をするように圧力をかけることは法律用語で inducing and compelling (誘導と強制) と言い、最大で14年の懲役に値する犯罪です。

NZPCによる支援

NZPCではピアサポートを行える女性・男性・トランスジェンダーのスタッフがいます。ここではカウンセリング、法的に有効な検査、警察へ暴行に関する報告、法廷での支援などを提供しています。またACC（ニュージーランドの事故に関する保険）、WINZ（生活保護等を扱う政府機関）、警察、ソーシャルワーカーなどに連携を依頼することもできます。



NZPCとニュージーランド警察

NZPCはニュージーランド警察と良好な関係のもと活動してきました。
警察に通報をする場合、NZPCでは以下のサポートを提供することができます。

- 事情聴取などでのサポート
- 法廷や検察との面談
- プライバシー保護の対策（名前、可能であれば職業は匿名であること）。もし報道がされる場合、名前等が記載されないためのサポート。

その他にNZPC でできること

- もしNZPC に来ることが難しい場合、必要な場所に訪問、もしくはNZPC までの送迎を依頼することが可能です。性的暴行に遭った場合、すぐにその場で身柄を保護することも可能です。
- 各地区の事務所で電話の使用
- 被害に関しての聞き取り及び記録の手助け
- 必要な情報と可能な選択肢の提供
- 健康診断、必要な検査、カウンセリングの予約等
- 必要に応じてセックスワーカー向けの妊娠検査、緊急避妊対策、性感染症の検査と治療の提供
- 仕事からの休養が必要な場合、WINZ（生活保護等を扱う政府部署）への連携等の支援が可能です。WINZセックスワークから離れることを希望する人に対して、待ち時間を減らし迅速な措置を提供しています。
- 働いている場所での支援、もしくはセックスワークもしくはそれ以外の仕事へ職場を変える支援

その他の支援

支援団体

性的暴行の被害者を支援する団体では、ソーシャルワーカーによる相談、カウンセリング、弁護、情報提供などを行っています。生活保護の申請、医療保険の手続き、警察への通報、法廷における支援などを受けることができます。

ニュージーランドでは、性的暴行の被害にあった場合、いかなる状況でもACC（ニュージーランドの医療保険の一種）の適応対象になります。ACCはカウンセリング、ソーシャルワーカー、その他健康に必要なサービスの費用を賄います。ACCに該当するために性的暴行を受けたことを証明したり、警察に通報する必要はありません。全てのサバイバーが適応対象であり、ほとんどの場合は無料で行われます。

経済的な支援

性的暴行、もしくはそれに伴う調査の過程で、衣服等の持ち物が紛失、盗難、破損に遭った場合、それらを補填するための経済的支援が受けられる場合があります。

健康診断

希望する場合、妊娠や性感染症に関する検査及び医療的な措置が受けられます。

法的に有効な医療検査

すぐに警察の被害届を出す場合もしくは時間を置きたい場合も、法的に有効な医療検査を受けておくことで、DNA鑑定等を含め後に証拠として役立ちます。検査は警察から独立して行うことができ、被害届を出す時点でのみ警察に通知します。被害後7日間、法廷で証拠として有効になる検査を受けることができますが、できるだけ早い段階の検査の方がより証拠を確立しやすくなります。

検査は個人もしくはNZPC、ニュージーランド警察、その他支援組織によって設定できます。検査は必要な訓練を受けた医療関係者の元丁寧に行程が説明され、すべての決定は被害者本人に委ねられます。どの段階でも検査を取りやめることは可能です。性器からのDNA採取は、本人が希望しない限り行われません。加害者のDNAは身体その他の部分、もしくは衣服から採取することが可能です。また、証拠として下着を含む衣類の提供を求められることがあります。

The Victims' Right Act 被害者の権利に関する法律

2002年に制定された被害者の権利に関する法律で、全ての犯罪により不利益を被った被害者は、尊厳とプライバシーの権利を持ち、丁寧に寄り添って対応されることが保証されています。

警察には被害者対応の際に以下のことが定められています

- 被害者に寄り添った丁寧な対応
- 尊厳とプライバシーの尊重
- 利用可能な支援に関するアドバイス
- 捜査の過程に関する情報公開
- 加害者の起訴、不起訴に関する情報とその理由の説明
- Victims Notification Register (深刻な犯罪の被害者に対して安全の確保に使われる制度) に関する情報の提供

希望する場合、NZPCのセンターで警察と個別に面談をすることも可能です。

性的暴行被害のニュージーランド警察への通報

私たち警察は市民の安全と継続的な心身の健康が最優先課題です。性的暴行は発生直後、もしくは長い時間が経っていても通報することができます。暴行の発生時期に関係なく、警察では被害者が次の行動を決定するために支援を行います。警察はあなたと周囲の人々の安全確保のために最善の策を講じます。

性的暴行が発生した場合、警察では専門家のチームが状況の記録のために録音調査を行います。会話は被害者の証言を保存し、法廷等で同じ証言を繰り返す必要がないように録音されます。加害者が性的暴行の容疑で起訴された場合、証言の書き起こしのDVDが証拠として渡されます。弁護団はいかなる状況においても被害者証言の複製もしくは配布を行うことはありません。

警察が被害に関する情報を得ると、性的暴行被害に関して訓練されたスタッフが調査を開始します。被害者は警察の捜査、加害者の起訴、法廷での動きなど事件に関する質問を警察にすることができます。警察は寄せられた通報を専門的に、そして被害者に寄り添って調査を行います。証拠確保のために事件関係者に事情聴取を行うことがありますが、捜査の全工程において被害者のプライバシーは保護されます。

被害者の名前は如何なるメディアにも提供されず、通報の詳細は本人の許可なしに家族や雇用主に知らされることはありません。警察は順次捜査の状況を被害者に説明します。また被害者は起訴された加害者の連絡先等を提供され、希望する場合連絡を取ることが可能です。

翻訳者注：NZPCとニュージーランド警察が共同で発行した性被害とその後の対応についての冊子の日本語訳を行いました。一部背景説明を付け足すための

() 内は翻訳者注です。日本とは法制度等が大きく異なるニュージーランドですが、異なる環境下でも役に立つ知識など、参考にして頂ければ幸いです。

発行 New Zealand Prostitute
Collective info@nzpc.org.nz/
<http://www.nzpc.org.nz/Home>
/ニュージーランド警察

Translator / 日本語訳:
現役SW/NZPCボランティアスタッフ
おはな (@hana_hine)
Hana.blume.flora@gmail.com



* 2017 - Hine Rose Miller *

